

◇ 事業報告

事業団総括事項

平成 29 年度においても、前年度に引き続き、新制度の枠組みの中でコンプライアンス意識をもち、ガバナンスの強化を心がけた法人運営を行った。

情報開示については、ホームページ上での事業計画書・収支予算書及び事業報告書・決算書の公開をはじめ、事業団運営施設の利用状況等を役職員へ定期的に情報提供を行うなど、事業団内外への情報発信と透明性の確保に努めた。

組織・体制面では、毎月の会議の中で職場環境の改善や職員の意識向上を図った。

財務面では、いわき市の平成 29 年 12 月議会により、健康・福祉プラザの料金改定が議決され、事業団理事会において具体的に平成 30 年度の料金改定について承認を受けた。

また、健康・福祉プラザクアハウス及び宿泊施設においていわき市の主導によりリニューアル工事を推し進め、新たにエクササイズフロアの新設、館内床材の貼替え、プールの塗装工事等を実施し、利用者の利便性向上に寄与した。

このような状況の中、利用料金制である健康・福祉プラザ宿泊施設においては、依然として風評被害の影響が残り、宿泊者数が減少したこと、東京電力(株)との損害賠償金請求交渉が難航したことなどにより、施設事業の収益は大幅な赤字となった。

一方、収益事業である健康・福祉プラザ通所介護事業、居宅介護支援事業及び障害者生活介護事業については、収入は、前年比 6,761 千円の大幅減となった。さらに支出は適正な職員数を確保したことによる人件費増などの影響で 3,037 千円増加し、職員体制の充実を図られたものの、平成 28 年度に比べ 5,080 千円の経費増となり、事業団全体では 63,895 千円の赤字となった。

1 公益目的事業（社会福祉事業）

1. 総括事項

公益財団法人の核となる公益目的事業として、次の社会福祉事業を実施した。

○公の施設の指定管理業務

- ・老人福祉センター及び老人憩いの家
- ・児童館・児童センター及びこども元気センター
- ・へき地保育所
- ・いわきサン・アビリティーズ
- ・いわき市健康・福祉プラザ

○いわき市からの委託事業

- ・ファミリー・サポート・センター事業
- ・地域子育て支援拠点事業

○自主事業

・温泉療法事業

・いきいき健康教室事業

これら施設の管理運營業務並びに市の委託事業等の業務について、不特定多数の者の利益の増進に寄与することを求められる公益目的事業として、広く市民福祉の向上に寄与するべく効率的かつ円滑な運営、実施に努めた。

(1) 施設貸与事業 (表1-1参照)

①老人福祉センター及び老人憩いの家

高齢者の健康増進やレクリエーションの場である老人福祉センター及び老人憩いの家については、ほぼ前年度並みの3,757件であった。1サークル当たりの所属人数が減っていることから利用者数については、減少傾向にある。

②児童施設

子どもの遊び場、子育て支援の拠点である児童館・児童センターについては、引き続き学童及び未就学児の親子の遊びの場、子育て支援の場として児童館事業の運営を行った。

小名浜児童センターでは利用の多かった学年が高学年になり利用しなくなったことと、スポ少が盛んであるということもあり、3,280人減の21,691人の利用であった。

内郷児童館では、近隣の小学校に放課後児童クラブが開設されたものの、希望者が多く待機児童が多く小学生の利用者が、微増となった。また、赤ちゃんサロンの回数を増やしたことにより乳幼児の人数増加があり38,639人(3,137人増)になった。

運営2年目を迎えたこども元気センターにおいては、オープン当初の混乱が落ち着き、全体の利用者が減少したものの、施設内の遊具を利用して遊ぶ利用者や、個別に実施した事業についても着実に利用者を増やし、延110,488人の利用者があった。

③へき地保育所

三和町永井地区と川前町桶売地区にいわき市で設置している二つのへき地保育所の指定管理者として、施設近郊で暮らす幼児の保育業務を実施した。また、保育所運営の一環として、運動会や発表会を実施するとともに、市街地への遠足、地元敬老会や高齢者施設への慰問など園外活動にも取り組んだ。

利用状況は、永井・桶売で合計児童数が増えたため、二施設合わせた延べ利用児童数は190人増であった。

④いわきサン・アビリティーズ（障がい者教養文化体育施設）（表1-3参照）

障がい者のスポーツや趣味・教養の場であるいわきサン・アビリティーズについては、体育館や研修室等を障がい者や一般利用者の利用に供するとともに、車いすバスケットやスルーネットピンポンなど障がい者スポーツの競技会等を13回開催した。施設の利用状況は、障がい者の利用が13,862人、一般利用者の利用が32,291人で、全体としては前年度より3,029人減の46,153人の利用状況であった。

⑤いわき市健康・福祉プラザ

ア 温泉利用型健康増進施設（クアハウス）（表1-4参照）。

クアハウスでは、誰でも手軽に健康増進が図れる施設として、平成29年度も引き続き、温水プールやトレーニングルーム、各種温浴施設の利用を提供することにより、生活習慣病の予防に貢献するなど利用者が日々を健康に過ごすための支援を行った。

本年度は、総括事項で述べたように、クアハウス、宿泊施設ともにリニューアル工事を実施し、利用者数については、プール塗装工事による水着浴ゾーンの休館及びトレーニングルームの利用休止により、全体的に利用者が減少するかに思われたが、年間利用券利用者が20,553人前年度より増加し、クアハウス全体では、20,040人増の329,933人であった。一方現金入場者については、前年度比356人減となった。

イ 宿泊施設（表1-4～6参照）

宿泊研修施設についても、クアハウスと同様に公益目的事業として、広く多くの方たちに利用していただけるよう、低廉な料金で気軽に温泉保養が楽しめる施設を提供した。

平成29年度も集客増を図るべく、利用者から好評の低廉な宿泊パックを昨年度同様3期に分けほぼ通年で実施した。しかしながら、3月からレストラン業者入替準備のため、

3月中は素泊まりのみの営業となり、客足が遠のく一因となった。宿泊全体の利用状況においては、関東からの利用者が前年度からさらに減少し、いわき市内及び福島県内からの利用も減少し、平成29年度の利用者は、前年度比840人減の7,437人であった。

温泉利用型健康増進施設（クアハウス）と宿泊施設を合わせた施設事業収入は143,709千円であり、支出は、193,275千円となり、差し引き49,264千円（うち雑収入302千円）の赤字であった。

ウ 浴室付大広間

いわき市から受託している浴室付き大広間については、誰でも手軽に温泉を楽しめる施設として提供した。利用実績については、前年度比1,511人増の17,144人であった。

エ 研修施設

同じくいわき市からの受託している研修施設については、地域社会の健全な発展のため

めに各種団体などに会議や研修の場として提供した。

平成 29 年度も、利用希望団体の利用目的等を精査し、ネットワークビジネスや営業行為につながるおそれのある利用については許可しないことを徹底したため利用実績は減少傾向となり、前年度比 97 時間減の 2,104 時間であった。

(2) いわき市からの受託事業

①いきいきデイクラブ事業 (表 1-8 参照)

同事業については、名称が「つどいの場」と変更になったことに伴い、いわき市から事業団への委託が終了したため、29 年度は実施していない。

② ファミリー・サポート・センター事業 (表 1-9 参照)

共働き世帯などの子育てを支援するファミリー・サポート・センター事業については、育児を援助する会員と依頼する会員を募集し、子育て援助活動の斡旋を行う事業として実施した。援助活動の斡旋に加え、事業の周知と会員登録及び協力会員のスキルアップのための研修会や会員の親睦を深める交流会等の企画運営を行った。

平成 29 年度は、総会員数は前年度並みの 809 人となった。また、支援活動については、放課後の学童に対するサポートなどを主な活動として実施され、その件数は前年度比 387 件増の 3,101 件であった。

③ いわき・ふれあい・ふくし塾運営事業 (表 1-10 参照)

地域福祉推進を図る目的で実施するいわき・ふれあい・ふくし塾運営事業については、いわき市との協議の結果、委託先が社会福祉協議会へと変更となり、事業団においては実施しなかった。

④ 障害者相談支援事業 (表 1-11 参照)

在宅の障がい者の自立と社会参加の促進を目的として実施する障害者相談支援事業は、29 年度より事業団職員を地域福祉ネットワークいわきに出向させ、主たる相談業務を実施した。事業団としては、障害程度区分に基づくサービス利用計画作成を実施し、272 件の計画相談を立案した。

(3) 自主事業

① 温泉療法事業 (表 1-12 参照)

温泉利用型健康増進施設である健康・福祉プラザにおいて実施する温泉療法事業について、実施についての問い合わせは 2 件あったものの、温泉療法事業についての実施には至らなかった。

② いきいき健康教室事業 (表 1-13 参照)

健康・福祉プラザを会場に、市民の健康増進に寄与するため、「シェイプアップコース」「水中運動午前コース」「水中運動午後コース」「シルバーコース」「夜間コース」の5コースを実施した。

開催数はプールエリア塗装工事及び館内カーペット張替工事のため、実施したコースに制限があり、前年度総参加者 521 人に対し、今年度は 56 名減の 465 人であった。

また、勤労者世代を対象に、開催時間を夜間に設定して実施した夜間プログラムについては、7 期開催した結果、利用者数は 33 人であった。

1-1 施設貸与事業(各施設の利用状況)

	施設名	平成29年度①	平成28年度②	比較 ①-②	平成22年度
老人施設	平老人福祉センター	790 ^件	814 ^件	△ 24 ^件	522 ^件
	小名浜老人憩いの家	810	812	△ 2	718
	勿来老人福祉センター	564	559	5	583
	内郷老人福祉センター	719	683	36	483
	四倉老人福祉センター	874	864	10	499
	件数計	3,757	3,732	25	2,805
児童厚生施設	こども元気センター	110,488	124,511	△ 14,023	14,946 ^人
	(※内小学生)	(23,050)	(27,499)	△ 4,449	(3,292)
	(※内プール利用者)	(0)	(0)	0	(3,174)
	(※地域活動推進事業)	(963)	(2,285)	△ 1,322	(1,107)
	小名浜児童センター	21,691 ^人	24,971 ^人	△ 3,280 ^人	20,094
	(※内小学生)	(8,871)	(11,500)	△ 2,629	(10,721)
	(※内プール利用者)	(1,273)	(1,680)	△ 407	(1,824)
	(※地域活動推進事業)	(1,145)	(1,174)	△ 29	(894)
	内郷児童館	38,639	35,502	3,137	17,159
	(※内小学生)	(14,697)	(14,443)	254	(4,540)
	(※内プール利用者)	(3,901)	(3,813)	88	(3,645)
	(※地域活動推進事業)	(2,055)	(2,005)	50	(710)
	人数計	170,818	184,984	△ 14,166	52,199
	(※内小学生)	(46,618)	(53,442)	△ 6,824	(18,553)
(※内プール利用者)	(5,174)	(5,493)	△ 319	(8,643)	
(※地域活動推進事業)	(4,163)	(5,464)	△ 1,301	(2,711)	
保育所	永井保育所	1,458 ^人	1,422 ^人	36 ^人	2,988 ^人
	桶売保育所	898	744	154	2,034
	人数計	2,356	2,166	190	5,022
いわきサン・アビリティーズ		46,153 ^人	49,182 ^人	△ 3,029 ^人	41,992 ^人
健康・福祉プラザ	健康増進施設	329,933 ^人	309,893 ^人	20,040 ^人	269,670 ^人
	(※年間利用券利用)	(300,995)	(280,442)	20,553	(235,357)
	宿泊施設	7,437	8,277	△ 840	10,885
	浴室付大広間	17,144 ^人	15,633 ^人	1,511 ^人	14,086 ^人
	研修施設	2,104 ^{時間}	2,201 ^{時間}	△ 97 ^{時間}	2,411 ^{時間}

1-2 地域子育て支援拠点事業の実施状況

		平成29年度①	平成28年度②	比較 ①-②	平成22年度
元 気	利用親子	1,445 組	2,826 組	△ 1,381 組	855 組
	相談件数	1,570 件	1,727 件	△ 157 件	337 件
小 名 浜	利用親子	1,474 組	1,569 組	△ 95 組	1,328 組
	相談件数	849 件	667 件	182 件	272 件
内 郷	利用親子	2,765 組	2,413 組	352 組	818 組
	相談件数	953 件	511 件	442 件	213 件
合 計	利用親子	5,684 組	6,808 組	△ 1,124 組	3,001 組
	相談件数	3,372 件	2,905 件	467 件	822 件

1-3 いわきサン・アビリティーズ主催事業実施状況

大会・事業名	参加人数	大会・事業名	参加人数
卓 球 大 会	30	リアル野球盤交流会	27
車 い す テ ニ ス 大 会	4	ブラインドテニス大会	28
ボ ッ チ ャ 交 流 会	24	フライングディスク大会	24
スルーネットピンポン大会	21	オセロ大会	13
スポーツレクリエーション交流会	12	風船バレー交流会	14
車 い す バ ス ケ ッ ト 大 会	32	バスケケット大会	56
卓 球 バ レ ー 交 流 会	24	アーチェリー競技会	1
スポーツレクリエーション交流会	22	ショートテニス大会	6
ローリングバレー交流会	14		

1-4 健康増進施設の利用状況

(単位 人)

区分	利用人数			構成比	前年度 ②	比較 ① - ②	平成 22年度	
	男性	女性	合計①					
ビ ジ タ ー	高齢者	2,839	2,462	5,301	1.6%	5,239	62	6,278
	障がい者	333	190	523	0.2%	494	29	686
	一般利用(大人)	1,912	1,292	3,204	1.0%	3,124	80	4,197
	〃 (小人)	480	473	953	0.3%	1,084	△ 131	1,423
	〃 (夜間)	2,072	1,056	3,128	0.9%	3,655	△ 527	3,934
小計	7,636	5,473	13,109	4.0%	13,596	△ 487	16,518	
年間利用券利用	170,484	130,511	300,995	91.2%	280,442	20,553	235,357	
宿 泊 者	高齢者等	75	119	194	0.1%	227	△ 33	499
	一般利用(大人)	113	137	250	0.1%	257	△ 7	521
	〃 (小人)	29	44	73	0.0%	80	△ 7	159
	小計	217	300	517	0.2%	564	△ 47	1,179
回 数 券	高齢者等	1,051	1,045	2,096	0.6%	1,899	197	1,554
	一般利用(大人)	741	628	1,369	0.4%	908	461	1,050
	〃 (小人)	20	28	48	0.0%	38	10	133
	小計	1,812	1,701	3,513	1.1%	2,845	668	2,737
入場券利用	3,923	5,791	9,714	2.9%	10,086	△ 372	10,681	
その他利用	907	1,178	2,085	0.6%	2,360	△ 275	3,198	
合計	184,979	144,954	329,933	100.0%	309,893	20,040	269,670	

1-5 宿泊施設の利用状況

(単位 人)

区 分	利用人数			構成比	前年度 ②	比 較 ①-②	平成22年度	
	男性	女性	合計①					
宿 泊 施 設	高齢者・障がい者	2,238	2,982	5,220	70.2%	5,545	△ 325	7,512
	障がい者 (小人)	4	0	4	0.1%	2	2	14
	一般利用 (大人)	975	983	1,958	26.3%	2,427	△ 469	2,773
	〃 (小人)	139	116	255	3.4%	303	△ 48	586
	合計	3,356	4,081	7,437	100.0%	8,277	△ 840	10,885

1-6 宿泊施設の稼働状況

(単位 %)

	平成29年度①	平成28年度②	比較① - ②	平成22年度
部屋稼働率	58.7	64.5	△ 5.8	79.3
定員稼働率	42.4	47.2	△ 4.8	62.1

1-7 宿泊者の地域別利用

(単位 人)

区 分		平成29年度 ①	構成比	平成28年度 ②	比 較 ①-②	平成22年度
地 域 別	いわき市内	2,993	40.2%	3,495	△ 502	3,954
	福島県(いわき市を除く)	1,838	24.7%	1,889	△ 51	869
	関東	2,247	30.2%	2,454	△ 207	5,239
	北海道・東北(福島を除く)	215	2.9%	300	△ 85	613
	上記以外	144	1.9%	139	5	210
	合 計	7,437	100.0%	8,277	△ 840	10,885

1-8 いきいきデイクラブ事業の実施状況

	平成29年度①		平成28年度②		比較 ①-②		平成22年度	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
教養講座(健康・ 生きがい関係)	0	0	92	1,954	△ 92	△ 1,954	148	3,111
高齢者スポーツ活 動	0	0	269	4,350	△ 269	△ 4,350	181	2,851
手芸・絵画等趣味 の活動	0	0	23	567	△ 23	△ 567	75	1,032
その他(創作・会 食・奉仕活動)	0	0	43	645	△ 43	△ 645	34	409
合 計	0	0	427	7,516	△ 427	△ 7,516	438	7,403

1-9 ファミリー・サポート・センター事業の実施状況

	平成29年度①		平成28年度②		比較 ①-②		平成22年度	
依 頼 会 員 数	472		473		△ 1		541	
協 力 会 員 数	278		282		△ 4		313	
両 方 会 員 数	59		63		△ 4		108	
計	809		818		△ 9		962	
支 援 活 動 件 数	3,101		2,714		387		2,613	
基 本 研 修 会	8回	72人	8回	90人	0回	△18人	3回	65人
ステップアップ研修会	2回	62人	2回	92人	0回	△30人	6回	100人

1-10 いわき・ふれあい・ふくし塾運営事業の実施状況

	平成29年度①		平成28年度②		比較 ①-②		平成22年度	
	人	人	人	人	人	人	人	人
塾生・卒業生数	0	0	41	27	△ 41	△ 27	80	57
講義実施状況	0回	0人	6回	158人	△ 6回	△ 158人	14回	420人
課外活動実施状況	0回	0人	3回	19人	△ 3回	△ 19人	13回	93人
計	0回	0人	9回	177人	△ 9回	△ 177人	27回	513人

1-11 障害者相談支援事業の実施状況

	平成29年度①		平成28年度②		比較 ①-②		平成22年度		
	人	人	人	人	人	人	人	人	
登録者人数	-	人	34	人	△ 34	人	113	人	
支援 件 数	障がい者福祉サービス等の利用援助	-	件	190	件	△ 190	件	363	件
	社会資源活用のための支援	-		144		△ 144		136	
	社会訓練プログラム等	-		95		△ 95		361	
	専門機関の紹介	-		0		0		0	
	その他	-		0		0		29	
	計画相談		272		290		△ 18		0
	合計		272件		719件		△ 447件		889件

1-12 温泉療法事業の実施状況

(単位 人)

	平成29年度①	平成28年度②	比較①-②	平成22年度
相談・問合せ件数	2	3	△ 1	1
温泉療法実施者	0	2	△ 2	1

1-13 いきいき健康教室事業

(単位 人)

	平成29年度①	平成28年度②	比較①-②	平成22年度
シルバーコース	142	165	△ 23	233
シェイプアップコース	92	115	△ 23	111
水中運動午前コース	56	—	56	275
水中運動午後コース	142	221	△ 79	—
夜間コース	33	20	13	—
合計	465	521	△ 56	619

2 収益事業（介護事業）

1. 総括事項

平成 29 年度においても、収益事業として、健康・福祉プラザにおいて指定通所介護事業と指定居宅介護支援事業を実施し、障害者生活介護センターにおいて障害者生活介護事業を実施した。いずれの事業においても、在宅で暮らす要介護者の自立的な生活を支援し、市民福祉の向上に寄与するという事業団の目的を果たしつつ、これらの介護事業は事業団の安定的な運営のために財務面で重要な役割を担うことから、収益確保のため事業運営の効率化に努めてきた。

通所介護事業所においては、前年度同様在宅で暮らす要介護・要支援の高齢者を対象にデイサービス事業を実施した。

居宅介護支援事業所においては、介護サービスの利用を希望する世帯を訪問し、地域の介護サービス情報提供を行い、利用者のサービス選択の利便を図ったケアプラン作成に努めた。

障害者生活介護センターにおいては、前年度同様に在宅で暮らす障がい者を対象に通所による生活介護サービスの提供を行い、家族の介護負担軽減と障がい者の地域生活支援を実施した。

これら収益事業（介護事業）の収入は、雑収益を含めて 114,496 千円であった。一方支出は、119,601 千円となり、差し引き 5,105 千円の赤字であった。

本来、公益財団法人として公益目的事業の赤字を補填するための収益事業が赤字であることは極めて重要な問題であり、30 年度は積極的に利用者増のための方策を講じるとともに、経費の圧縮に努め黒字になるような運営に努める。

(1) 通所介護事業（表 2-1～2 参照）

指定通所介護事業所の利用状況は、年度を通して利用者の入院や入所等が多く、利用実績も伸び悩み、1 日の平均利用者が 20 人を割り込む月が大多数であった。そのため、各居宅事業所への PR を実施し、新規利用者の受け入れや、現利用者への複数回利用の促進を図ったものの、延利用者は前年度比 20 人減の 5,862 人であった。収入は昨年 44,058 千円に対し、45,019 千円の微増となったが、支出は 47,501 千円と収入を上回り 2,482 千円の赤字であった。

(2) 居宅介護支援事業（表 2-3 参照）

居宅介護支援事業では、介護支援専門員の増員を強化し、積極的に利用者増を図る方針であったが、通所介護事業所の介護員不足が解消されず、前年度同様、通所介護事業の業務と兼務しながらのケアプラン作成業務従事となり、思うような利用者増が図れなかったことから、平成 29 年度の件数は前年度比 82 件減の総数 209 件と減少した。件数減に比例し、収入は 2,138 千円、支出は 3,470 千円となり、差し引き 1,332 千円の赤字であった。

(3) 障害者生活介護センター (表2-4～5参照)

障害者生活介護センターでは、登録者増を図るため、施設見学の受け入れや、事業内容をよりわかりやすくしたチラシを作成し配布する等、可能な限り利用希望者の要望に応えながら受け入れを実施するとともに、現利用者に対しては、複数回利用の促進を図った。しかしながら利用者の施設入所、長期入院等により、利用者数は前年度比231人減の7,704人となり、平均単価で昨年度を下回り(国の制度である公立減算による)、収入は、67,339千円で前年比7,012千円の減、支出は68,630千円となり、差し引き1,291千円の赤字であった。

2-1 通所介護事業利用状況

	平成29年度①	平成28年度②	比較①-②	平成22年度
(1)年度末利用登録者数 (人)	52	53	△ 1	60
(2)年度開所日数 (日)	307	307	0	291
(3)年間利用予定者数 (人)	5,222	5,108	114	4,180
(4)年間延利用者数 (人)	4,884	4,811	73	3,856
(5)年間利用率 (%)	93.5%	94.2%	△ 0.7	92.2%
(6)1日当たり平均利用者数 (人)	15.9	15.7	0.2	13.3

2-2 通所介護事業(介護予防)利用状況

	平成29年度①	平成28年度②	比較①-②	平成22年度
(1)年度末利用登録者数 (人)	13	13	0	26
(2)年度開所日数 (日)	307	307	0	291
(3)年間利用予定者数 (人)	1,087	1,191	△ 104	2,042
(4)年間延利用者数 (人)	978	1,071	△ 93	1,845
(5)年間利用率 (%)	90.0%	89.9%	0.1	90.4%
(6)1日当たり平均利用者数 (人)	3.2	3.5	△ 0.3	6.3

2-3 居宅介護支援事業:ケアプラン作成件数

(単位 件)

区分	平成29年度①	構成比	平成28年度②	比較①-②	平成22年度
要支援 1	10	4.78%	17	△ 7	14
要支援 2	38	18.18%	33	5	33
要介護 1	49	23.44%	72	△ 23	32
要介護 2	55	26.32%	84	△ 29	108
要介護 3	33	15.79%	64	△ 31	31
要介護 4	14	6.70%	21	△ 7	82
要介護 5	10	4.78%	0	10	22
合計	209	100.0%	291	△ 82	322

2-4 障害者生活介護センター利用状況

(単位 人)

障害程度区分	平成29年度①	構成比	平成28年度②	比較①-②	平成22年度
区分 2	824	10.70%	1,102	△ 278	1,029
区分 3	1,782	23.13%	1,572	210	1,638
区分 4	1,943	25.22%	1,999	△ 56	1,603
区分 5	1,093	14.19%	1,215	△ 122	665
区分 6	2,062	26.77%	2,047	15	1,402
合計	7,704	100.0%	7,935	△ 231	6,337

2-5 障害者生活介護センター 登録者動静

(単位 人)

新規契約	契約解除	利用回数		区分変更	
		増	減	重	軽
4	8	9	1	3	1